

九州電力(株)玄海原子力発電所第3号機の原子炉建屋および原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを踏まえた対応について (原子力安全・保安院への報告)

2011年8月22日

当社は、九州電力(株)玄海原子力発電所第3号機の原子炉建屋および原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの一部に誤りがあった事象を踏まえて、2011年7月22日に原子力安全・保安院から発出された指示文書^{※1}に基づき対応をおこない、本日、原子力安全・保安院へ結果を報告しましたので、お知らせします。

原子力安全・保安院の指示の内容

九州電力(株)玄海原子力発電所第3号機の耐震安全性評価における入力データの誤りを踏まえ、下記を実施し、その結果を報告すること。

- ①九州電力(株)が解析を委託した会社と同じ会社に解析を委託した原子力事業者は、同様の誤りがないか調査すること。
- ②解析を委託した会社が異なる原子力事業者は、入力データに誤りが無いことのチェック体制について再点検を行うこと。

当社の耐震安全性評価に係る建物の地震応答解析を委託した会社は、九州電力(株)が解析を委託した会社とは異なるため、上記②の対応を行い、その結果について報告しました。

1. 解析業務におけるチェック体制

当社は、耐震安全性評価に係る解析業務の委託において、解析を委託した会社に解析業務に必要な品質保証活動の内容を記載した品質保証計画書を提出することを求めています。当社は、提出された品質保証計画書が、当社の要求を満足していることを確認しています。

- (1)当社は、入力データに誤りが無いように、解析を委託した会社に対して品質記録、品質管理に係わる記録等について、十分な照合・審査を行うことを要求しています。
- (2)解析を委託した会社は、上記(1)に対して下記の事項を実施しています。
 - ・解析業務を実施するにあたり、解析毎のチェック項目や入力根拠等を解析手順書やチェックシートにより明確にしていること。
 - ・計算機プログラムへ正しく入力されていることの確認として、解析担当者とそれ以外の者がチェックシートを用いてダブルチェックしていること。
 - ・解析結果の検証として、類似解析結果等に基づく検証を実施し、社内レビューを行っていること。
- (3)当社は、(2)の実施状況を抜き取り調査により確認しています。

2. 入力データに誤りが無いことのチェック体制について再点検した結果

当社は、解析を委託した会社のチェック体制や実施状況を確認するため、立ち入り調査を実施しました。調査の結果、解析を委託した会社は当社の要求に従って入力データに誤りが無いようにするためのチェック体制を維持しており、入力データのダブルチェックを確実に実施していること等、チェックの内容および実施状況を再確認しました。

なお、委託先の品質保証活動全般の実施状況とその有効性については、定期的な監査により確認しています。

今後も引き続き解析業務における品質保証活動を継続すると共に、必要に応じて品質保証活動の取り組みを強化することにより、解析業務の信頼性向上に努めてまいります。

※1 指示文書は、「九州電力株式会社玄海原子力発電所第3号機の原子炉建屋及び原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを踏まえた対応について(指示)(平成23・07・22原院第1号)」を指します。

以上